

項目	具体的取組	成果と課題	改善策・向上策
<p>1 教育課程 学習指導 研修</p>	<p>①わかる授業を推進するため、公開授業週間を実施し、教材研究・授業研究を充実させ、指導力の研鑽と研究・工夫を継続的に行う。</p> <p>②生徒の学力向上を図るため、小テストなどを実施し、また課題の取組状況を確認する。さらに成績不振の生徒に対しては、補習等で時間をかけて丁寧に指導する。</p>	<p>・公開授業を6月と10月からの年間2回(各2週間)実施した。全教科で公開授業に取り組み、互いの授業改善に活用している。教員のアンケート結果から、「わかる授業」について「大変良い」「おおむね良い」を合わせて98.2%となっている。また生徒の授業への理解度アンケート結果からも、「大変良い」「おおむね良い」を合わせて87.4%となっており、成果がうかがえる。</p> <p>・教職員の小テストの実施等は、「大変良い」「おおむね良い」を合わせて93.1%となっており、目標値を上回った。また生徒の課題への取り組みについても94.3%と、与えられた課題について意欲的に取り組んでいる。</p>	<p>・公開授業を積極的に実施し、わかる授業を推進するために、さらに相互研鑽を積み、指導力の向上を図る。</p> <p>・生徒の学力向上を図るため、各教科、学年会等で十分検討し、単元毎の小テストの実施や課題の提出、補習や個別指導をとおして丁寧に指導する。また生徒の家庭学習の今以上の充実を呼びかける。</p>
<p>2 生徒指導</p>	<p>①全教員による容儀検査を各学期3回実施する。定期的な容儀検査だけでなく、徹底した事前・事後指導を行う。また、交通安全指導においては、事故防止の指導と同時に、自他の生命を尊重する精神を培う。情報モラル教育を通して、よりよい人間関係の構築をめざし、倫理観を養う。</p> <p>②生徒会活動を通して、自主自律の精神を養う。また、保護者との相互理解を深めながら部活動の活性化を図るとともに勉学との両立を目指し生徒の心身の向上を促す。</p>	<p>・身なり指導については、生徒、保護者、教職員ともに大きく目標値を超え、良好な成果が挙げられているが、指導の継続を要する生徒も若干名おり、粘り強い指導が必要である。</p> <p>・登下校時の自転車事故を減らすために、保護者や地域・警察と連携を深め、交通安全指導を徹底する必要がある。</p> <p>・交通事故時および不審者遭遇時の対応の仕方について周知徹底を図りたい。</p> <p>・情報モラル講演会を今年度もSNS事業者講師を依頼し実施した。わかりやすく具体的な内容の話聞くことができた。また、昨年度から保護者・生徒へのパンフレット配付などを通して情報機器やSNS利用に関する啓発活動を行ったところ、保護者の情報機器利用のルール作りの値が5%上昇し、保護者と生徒間の情報機器の利用に関する意識のずれに改善がみられた。</p> <p>・毎月いじめ対策委員会を開催し、相談室と綿密に連携しながら様々な問題に対処した。</p> <p>・昨年に引き続き、92.0%の生徒が活動に積極的に取り組んでいるとともに、教職員も約98.3%が生徒に活動を促している。いずれも目標を大幅に上回った。一方、保護者については1年、2年の「あまり良くない」が25.9%(3年は17.8%)であった。原因としては生徒たちの活発な活動について、保護者に知られていないことが考えられる。</p>	<p>・容儀検査の必要ない学校を目指して着こなしを含めた正しい制服の着用について継続して指導をしていきたい。</p> <p>・「いつでも・どこでも・誰にでも」気持ちのよい挨拶ができるように指導したい。</p> <p>・交通社会の一員として、交通マナー・交通安全についての意識をさらに高め、自他の生命を尊重するという理念のもと、事故防止に努めていきたい。</p> <p>・SNS事業者による情報モラル講演会については来年度も実施していきたい。情報についての正しい知識や考え方を身につけるための教育をさらに推進していきたい。特に、SNS利用の注意点を保護者と連携して指導し、よりよいコミュニケーション教育に継続的に取り組んでいきたい。</p> <p>・来年度もいじめ対策委員会を定期的開催し、問題の早期発見に努めたい。また、問題を発見した場合は速やかに対処していきたい。</p> <p>・学校行事については、来年度も多くの生徒が満足できる企画・運営をしたい。LH活動や生徒会活動については、ボランティア活動を積極的に取り入れ、自主的・主体的な活動の幅を広げて充実を目指す。ホームページ等を使い保護者に活動を理解していただく機会を増やし、左の課題を改善したい。質問項目を工夫してはとの意見も出た。</p>
<p>3 進路指導</p>	<p>①生徒の主体的な進路実現のために適切な支援を行う。</p> <p>②進路に関する情報を充実させ、生徒の実態に即して提供する。</p>	<p>・生徒の進路に対する意識は昨年度と同様に高い。3年間を通してのガイダンスや個別指導が定着し、生徒たちの意識向上につながっていると思われる。</p> <p>・保護者に対する進路情報提供の満足度は1年で昨年度の53.5%から57.2%に向上した。きめ細かい情報提供に努めた結果が現れたと考えられる。全学年では昨年度の72.6%から73.3%に向上し目標値70%を上回った。特に3年生の保護者は95.7%、生徒も95.5%が満足と解答しており、納得のいく進路実現ができたと思われる。</p>	<p>・3年間を通して適切な時期に進路ガイダンスを設定し、自分の適性や進路を考える機会を与える。ガイダンス内容のさらなる充実を図る。</p> <p>・生徒から保護者に確実に情報が届くように意識向上を促す。</p> <p>・保護者対象進路ガイダンスを行い、学年に応じた内容を適切な時期に提供できるように検討し実施していく。</p>
<p>4 保健管理</p>	<p>①清掃の指導や監督を行い、生徒が環境美化に取り組む姿勢を育成する。また、ゴミ分別の指導を行い、保護者・生徒とともにリサイクル活動の推進を図る。</p> <p>②保健調査や定期健康診断の結果をもとに、適切な保健指導を行う。また、保健だよりなどの発行を通じた啓発活動により、保健知識の普及を図る。</p>	<p>・教員の清掃指導、保健指導とも目標値を上回った。特に、学校の環境美化については生徒と教員が一丸となって取り組んでいる事がわかる。保護者から見た本校の環境美化への取り組みも高評価であった。</p> <p>・校舎内外の清掃美化に関する生徒の評価は昨年と同じであったが、年々向上してきている。ゴミの分別意識をさらに高めていきたい。</p> <p>・自己の健康管理意識の高い生徒が多くみられる。感染症予防の指導を通して、さらなる保健知識の啓発に努めたい。</p>	<p>・学校環境の美化は健康を維持するためにも重要であるという生徒の意識を育てたい。</p> <p>・ゴミの分別を徹底するためのより効果的な対策を考え、各クラスに今後とも周知していきたい。</p> <p>・夏季の熱中症、食中毒、冬季のノロウイルス、インフルエンザ等の感染症予防について、来年度も『保健だより』などを通して啓発していきたい。</p>

項目	具体的取組	成果と課題	改善策・向上策
5 保護者との連携 教育環境の整備	<p>①PTA活動や学校行事に関する情報発信を行い、保護者と教職員の連携を深めるとともに、各種学校行事への保護者の積極的な参加を促す。</p> <p>②生徒の健全育成・進路実現のために、保護者の研修の機会を充実させるとともに、生徒の意見も積極的に採り上げ、教育環境の整備を図る。</p>	<p>・保護者に対するアンケート項目「学校からの連絡を読んでいるか」の回答は「大変良い」「おおむね良い」を合わせて74.3%と昨年より大幅に下がり、特に、1年生の保護者の回答は68.7%だった。今後は学校からの情報発信の内容、手段等改善に努めたい。</p> <p>・「教育環境の整備に努力しているか」という教職員への質問については「大変良い」が62%を越え「おおむね良い」と合わせて98%を越える結果が得られた。今後も、高水準を維持できるよう努めたい。</p>	<p>・保護者への連絡は、プリントとメール配信システムの両方を用いることが今後も必要だと思われる。保護者向けのプリントに関しては、保護者向けの文章である事がわかるよう工夫に努めたい。</p> <p>・教育環境を整備する為には、保護者、教職員、生徒の連携が不可欠である。学校行事等とおしてより良い教育環境が構築できるよう努めたい。</p>
6 図書指導	<p>①新入生図書ガイダンス、全校一斉読書タイムなどを行い読書への関心を高める。また、カードを利用した読書マラソンにより継続して生徒が読書に親しむように努める。</p> <p>②図書委員会の活動を充実し、各種の取組や委員会だより・新着図書案内などの広報活動により図書館利用の拡充を図る。また新聞記事の紹介・掲示を通じて社会情勢に関心を持たせるよう啓発する。</p>	<p>・全校一斉読書タイムが「非常に良い・おおむね良い」は生徒95.1%と非常に高い評価を得ている。読書マラソンに取り組む生徒も多い。</p> <p>・図書広報活動は「非常に良い・おおむね良い」は保護者92.2%で高い理解を得ている。生徒については目標値に達しておらず、近年横ばいである。図書委員会も活発に活動を行っており、書籍・新聞記事紹介などの広報活動やイベント実施など図書館利用が促進されている。</p>	<p>・進路実現・自己啓発・話題の本を充実させ、さらに読書啓発をすすめたい。</p> <p>・図書広報活動における生徒評価は徐々に高まっているが、各種広報が図書館からであることの認知が十分ではなく、評価につながっていない。図書館活動が読書啓発だけでないことを積極的に伝え、図書館外での掲示・情報発信や経済・社会情勢に関する資料の充実を図ることにより、教養の涵養や進路実現に役立つ資料の提供を通じ図書利用の促進を図る。</p>
7 教育相談	<p>①相談室連絡会、学年会、はぐくみ委員会など全校協力体制のもと、問題の早期発見解決に努める。</p> <p>②生徒へのアンケート、生徒理解のための研修会などを通して、生徒を正しく理解できるよう努める。</p>	<p>・関係の先生方と連携を密にし、情報交換と指導方針の確認を行うことで相談室登校や保健室登校の生徒の支援をすることができた。</p> <p>・意識調査アンケートを定期的の実施し、その結果を踏まえて、関係の先生方と連絡を取りながら、生徒理解に努めた。</p> <p>・Q-U分析を通じて、クラスにおける生徒の状況把握を深めることができた。</p>	<p>・担任や養護教諭等の関係職員との連携を密にし、生徒の状況を的確に把握できる体制作りと生徒にとって居心地の良い環境作りをさらに進めていきたい。</p> <p>・研修会のいっそうの充実を図り、職員全体の問題を発見し解決する資質と能力の向上に努める。そのために少しでも多くの職員が参加できる内容・日程を検討する。</p>
8 社会人への準備	<p>①学校生活の様々な場面を活用して、自分の生き方を真剣に考え、人生を主体的に生きる態度の育成に努める。</p> <p>②教育活動全体を通して、ビジネスマナーやコミュニケーション能力の育成を図る。</p>	<p>・社会情勢などに関心を持つ生徒が70.6%で特に3年生は高く79.0%ある。SNS等で様々な情報を得ているようだが、情報収集力とともに多くの情報を論理的に取捨選択できる情報判断力をつけさせる必要がある。</p> <p>・学校行事に対する取り組みでは、意欲的、主体的に参加し、95.8%の生徒が行事等の活動に充実感を感じている。特別活動の指導と教科学習指導とのバランスを配慮することが必要である。</p> <p>・清潔感のある身だしなみを心がけている生徒は98.7%とほとんど全員である。今後は容儀検査の必要のない学校を目指し、さらに積極的な生徒指導を展開していきたい。</p>	<p>・ビジネスマナーやコミュニケーション能力の重要性については、職場体験（インターンシップ）や「ようこそ先輩」等の体験を通じて実際に実感させることが重要であると考えられる。今後は、振り返りなどを充実させ、一時的な体験で終わらせないようにしていきたい。</p> <p>・社会的な問題やニュースに興味関心を持つよう、ロングホームや主権者教育の充実を図り向上させていきたい。</p> <p>・生徒会活動では今年度、生徒会オリジナルの弁当のメニューの考案や、生徒会活動を中心とした主権者教育について他校の生徒と話し合った。今後は学校行事など様々な場面を活用し生徒の主体的な活動を取り入れ、さらなる充実を図りたい。</p>